

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第1回 キャリア委員会
議事次第

開催日時：2023年4月27日（木）15:00～17:00

開催場所：兵庫国際交流会館 研修室1（兵庫県神戸市中央区脇浜町1-2-8 2F）

委員校：関西学院大学（委員長校）、

関西福祉大学（副委員長校）、甲南女子大学（副委員長校）、神戸国際大学（副委員長校）、
芦屋大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、
聖和短期大学、兵庫県立大学、流通科学大学

計16大学

I. 報告事項

1. 2023年度キャリア委員会委員校について (資料1)
2. 事業委員会運営に関する申し合わせについて (資料2)

II. 協議事項

1. 2023年度キャリア委員会事業計画（案）について (資料3)
 - ① 大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ② 県内企業・団体等の魅力を情報発信
 - ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
 - ④ 外国人留学生採用ワンストップ支援事業
2. その他

III. 懇談事項

「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」掲載情報の追加と充実について

IV. 連絡・調整事項

1. 2023年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について
 - 第2回委員会 10月：2023年度プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）について
 - 第3回委員会 12月：2023年度事業自己評価（案）について
 - 第4回委員会 2月：2024年度事業計画・予算（案）
 - 第5回委員会 3月：2023年度事業報告・決算（案）

V. 情報交換

以上

<資料一覧>

- (資料1) 2023年度 キャリア委員会名簿
(資料2) 事業委員会運営に関する申し合わせについて
(資料3) 2023年度 キャリア委員会 事業計画（案）①～④
(参考資料1) 2023年度 キャリア委員会 事業予算（承認済）
(参考資料2) 中長期計画Ⅱ期

大学コンソーシアムひょうご神戸 2023年度 キャリア委員会名簿

資料 1

出席予定 ■: 16校/25校 (64%)、16名

敬称略

加盟校数	学校名	所属	役職	氏名	4/27出席
1	関西学院大学(委員長校)	キャリアセンター	センター副長	松本 雄一	
2	聖和短期大学	キャリアセンター キャリア支援課		山口 理一	
3	関西福祉大学(副委員長校)	社会福祉学部	教授	中村 剛	
		キャリア開発課	課長	末政 圭介	
4	甲南女子大学(副委員長校)	キャリアセンター	キャリアセンター長	森本 真理	
		キャリアセンター	キャリアセンター副部長	深澤 貞信	
5	神戸国際大学(副委員長校)	キャリアセンター	室長補佐	馬淵 有美	
		キャリアセンター		堀竹 功人	
6	芦屋大学	学生部	部長	中村 卓司	
		就職課	職員	吉田 育子	
7	大手前大学	経営学部	教授	伊藤 宗彦	
8	大手前短期大学	キャリアサポート室	室長	久保 和也	
9	関西国際大学	経営学科	キャリア支援 センター長 教授	北村 正仁	
		学修支援部	部長	藤井 学	
10	甲南大学	キャリアセンター	所長	藤田 順也	
		キャリアセンター	次長	天羽 麻由子	
11	神戸大学	キャリアセンター	政策研究職員	田中 美恵	
		学務部学生支援課	室長	安藤 肇	
12	神戸海星女子学院大学	英語観光学科	教授	酒井 新一郎	
		キャリアセンター	課長	白石 三保子	
13	神戸学院大学	キャリアセンター	所長	井上 善博	
		キャリアセンター キャリア支援グループ	グループ長	住本 美保子	キャリアセンター キャリア支援グループリーダー 鴻上 浩智
14	神戸市外国語大学	キャリアサポート部会	キャリアサポート部会長	中村 嘉孝	
		キャリアサポートセンター	所長	浅井 祐二	
15	神戸松蔭女子学院大学	キャリアサポートセンター	課長	山田 勝久	
		キャリアサポートセンター	課員	奥原 啓太	
16	神戸親和大学	キャリアセンター	センター長	佐藤 智恵	
		キャリアセンター事務室	課長	宮内 由佳	
17	神戸常盤大学	こども教育学科	教授	橋本 好市	
		キャリア支援課	課長	木村 明人	
18	神戸常盤大学短期大学部	キャリア支援課	課長補佐	福田 良介	
19	園田学園女子大学	学生支援部	部長	大野木 位行	
20	園田学園女子大学短期大学部	学生支援部 キャリア支援課	一般職	大野 亜衣紗	
21	姫路獨協大学	医療保健学部	教授(キャリアセンター長)	小寺 宏尚	
		教務部キャリア課	課長	増田 和也	
22	兵庫大学	教育学部学生支援課	課長	田中 祥太	
23	兵庫大学短期大学部				
24	兵庫県立大学	兵庫県立大学	副学長	坂下 玲子	
		教育企画部教育企画課	次長兼課長	三嶋 良宜	教育企画課 就職支援コーディネーター 片山裕司
25	流通科学大学	人間社会学部 人間健康学科	准教授	前川 明	
		就職部	課長	屋久 嘉徳	

事務局

関西学院大学	研究推進社会連携機構	課長	永野 誠
大学コンソーシアムひょうご神戸 事務局		国際交流・キャリアチーム 次長	鈴木 真紀子
		キャリア支援チーム リーダー	佐藤 英代
		キャリア支援チーム	足立 智子

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第38条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1)正会員の教職員で、原則2名(教員1名、職員1名)。
- (2)毎年度、第1回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1)事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2)委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3)副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1)任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2)国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3)6事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4)任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ①選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ②事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ①選抜制4事業委員会の正副委員長及び輪番制2事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ②選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③1大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023年度からの担当期間を原則として3年間(2023年度～2025年度)とする。
- ③2026年度～2027年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025年度後期に検討するものとする。

4. 事業委員会の任務

- (1)事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- (1)事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2)事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- (1)事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2)委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3)「委任状」の制度は用いない。
- (4)事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

- (1)正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

- (1)事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2)プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3)委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

- (1)事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。

附則

(1)この申し合わせは、2022年4月1日から施行する。

(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月1日から施行する。

以上

委員長校 : 関西学院大学

副委員長校: 関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

委員校: 芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

計25校
(2023年度登録大学)

<目的>

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

<内容>

1. 大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
2. 県内企業・団体等の魅力を情報発信
3. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
4. 外国人留学生採用ワンストップ支援事業

<期待される効果>

1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
3. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる、「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。
4. 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。

課題① 地域の活性化のための県内企業への就職率の向上		予算額
取組1	大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト	5,246,000円 * 受託事業収入
取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	0円
課題④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		予算額
取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	1,000,000円
取組1-2	外国人留学生採用ワンストップ支援事業	6,140,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

【2023年度 キャリア委員会 事業計画(課題①取組1)】

【①取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
【①取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上			
達成目標 【①取組1】	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上			
課題を解決する 取組概要 【①取組1】	<p>大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト <若者の地元密着のための就職支援事業> 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足が考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。</p>			
活動指標 【①取組1】	参加学生数:450名以上、参加教職員数:50名以上(2023年度)			
内容 (計画)	<p>【兵庫県総務部教育課 受託事業 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】</p> <p>I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <p>1)キャリアセンター対象の合同企業説明会:2024年3月予定 中小企業家同友会と連携の上、キャリアセンター職員向けの合同企業説明会を開催</p> <p>2)企業とキャリアセンターとの意見交換会(計4回) 大学が目指す人材育成像、企業が求める人材像について、キャリアセンターと県内企業が意見交換を行う。 ①2023年6月予定(協業:淡路商工会議所) ②2023年10月予定(協業:神戸商工会議所) ③2023年11月頃予定(協業:北播磨県民局) ④2024年2月予定(協業:丹波県民局)</p> <p>3)情報技術を活用した魅力ある県内中小企業情報の発信(計3回) 学生視点による企業の紹介動画コンテンツを作成・配信。 賛助会員企業を中心に、2023年8月~12月頃取材・制作予定。 *企業課題解決プログラム参加企業・大学などに依頼予定</p> <p>4)県内企業間の情報連携(計3回) 県内企業に就職した県内大学生を対象に、その企業に就職した理由等を調査し情報共有する。 「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」掲載企業に、2023年8月~12月頃取材・掲載予定。</p> <p>II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <p>1)経営者による職業観形成プログラム(計2回) 県内中小企業の経営者が、地域に根差した先進的・実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元意識の高揚を図る。 ①2023年10月~2024年2月予定:産官学連携による「全員発揮型のリーダーシップ」研修 ②2024年1月予定:経営者・人事のパネルディスカッション</p> <p>2)若手社員による学生啓発プログラム(計2回) ①2024年1月20日予定:合同模擬グループディスカッション・面接大作戦 ②2024年2月頃予定:加盟大学合同キャリアセミナー</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	<p>・昨年度まで3年間実施してきた「県内企業魅力発見動画」を発展させ、より学生が親しみやすい形での動画作成・配信を行う。</p> <p>・県内大学生の県内企業への就職事例(成功事例)を取材し情報発信することで、学生企業双方にとって、県内企業への就職のきっかけとする。「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」との連動を図る。</p> <p>・加盟大学キャリアセンター合同でのキャリアセミナーを開催する。「合同模擬グループディスカッション」の前後に実施することで、より効果的に加盟校学生の就活力の向上を目指す。</p>			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	5,246,000円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【2023年度 キャリア委員会 事業計画(課題①取組2)】

【①取組2】達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
【①取組2】活動指標	企業情報の追加掲載: 2種類以上

課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上			
達成目標 【①取組2】	情報公開企業・団体数120社以上			
課題を解決する 取組概要 【①取組2】	<p>県内企業・団体等の魅力を情報発信 地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。</p>			
活動指標 【①取組2】	企業情報の追加掲載: 2種類以上(2023年度)			
内容 (計画)	<p>「地元で働こう! 兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。 《掲載内容》業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報(外国人留学生採用予定を含む)(企業HPへリンク) ※兵庫県内協力企業152社掲載中(2023年3月現在)</p> <p>※掲載企業情報の内容を充実するため、企業情報欄を追加する(本年度10月頃に確定) 【追加情報欄例】 ・くるみんマーク(子育てサポート企業) ・健康経営企業 ・地域未来牽引企業 ・県内大学生の就職理由等情報 ・企業から就活学生への一言メッセージ ・その他</p> <p>※昨年同様、キャリア委員校と連携して2023年度新規企業掲載準備を行い、委員会で企業情報の追加内容を確定(8月頃)・推薦企業への確認(10月末頃)を経て、本年度版「地元で働こう! 兵庫県内企業情報サイト」(12月)に反映する。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	「地元で働こう! 兵庫県内企業情報サイト」の掲載情報を拡充することで、加盟校学生・留学生にとっても、より活用しやすい情報サイトとして充実を図る。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【2023年度 キャリア委員会 事業計画(課題④取組1-1)】

【④取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
【④取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進			
達成目標 【④取組1-1】	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上			
課題を解決する 取組概要 【④取組1-1】	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。			
活動指標 【④取組1-1】	参加留学生数:500名以上(2023年度)			
内容 (計画)	<p>I. 留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ) 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。 参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。</p> <p>【プログラムスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ説明会(オンライン)4月～5月複数回実施 ・エントリー学生ガイダンス 6月 6日(火) ・エントリー学生と企業の交流会 6月10日(土) ・企業・団体実習期間 8月 1日(火)～9月15日(金)頃 ・報告会・修了交流会 9月16日(土) <p>*開催形式については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況に応じオンラインに変更の可能性もあり</p> <p>II. 留学生支援プログラム(外国人向け合同企業説明会) ・外国人向け合同企業説明会(2023年6月21日) 留学生と県内企業とのマッチングを行う企業説明会・就職セミナー等を開催する (協業:神戸市、兵庫県)</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	今年度より「ひょうご留学生インターンシップ」プログラムが大きく変更となるが、コンソの特性とこれまでのノウハウの蓄積を活かして、留学生の採用に積極的な企業と留学生・大学との出会いと繋がりを作り場づくりはこれまで同様に行っていく。実習先決定手法として「兵庫県インターンシップシステム」の利用や、別事業との連動による必要知識の習得機会の提供などを行いながら、日本での就職を希望する留学生に必要な学びの場を提供していく。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	1,000,000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
<p>■自己評価基準 (対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った</p>	<p>■自己評価基準 (対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき</p>			
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)				

【2023年度 キャリア委員会 事業計画(課題④取組1-2)】

【④取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
【④取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
達成目標 【④取組1-2】	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
課題を解決する 取組概要 【④取組1-2】	外国人留学生採用ワンストップ支援事業 高度な技術力や知識を有する外国人留学生の円滑な県内就職を促進するため、留学生と企業それぞれを対象として、留学生の採用から採用後の職場定着までを支援する事業を行う
活動指標 【④取組1-2】	参加者数:50名以上(2023年度)

内容 (計画)	【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】			
	<p>事業内容</p> <p>(1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置</p> <p>①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を[対面・オンライン・メール・電話等]により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。</p> <p>ア:窓口相談の対象者</p> <p>a 留学生(既卒の就職者を含む。)</p> <p>b 留学生の採用を検討している企業及び留学生を採用した企業</p> <p>イ:相談内容</p> <p>a 留学生の国内就職に関する相談及び県内企業による採用・人材活用に関する相談対応</p> <p>b 留学生向け合同企業説明会やインターンシップ等の紹介</p> <p>②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。</p> <p>ア:対象 留学生の採用を検討している企業、留学生を採用した企業</p> <p>イ:内容</p> <p>a 留学生の採用・人材活用に係る専門的な内容に対する面談または電話での相談対応</p> <p>b 留学生の受入体制整備等に向けた相談企業への専門家派遣</p> <p>(2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 留学生の採用や入社後の人材活用に向けた企業向け啓発セミナーを実施することにより、県内企業における人材確保を促進する。また、セミナーの内容をアーカイブ配信し、県内企業への効果的な啓発を実施する。</p> <p>①対象 留学生の採用を検討している県内企業</p> <p>②回数 年1回</p> <p>③内容 留学生に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援事業紹介</p> <p>④アーカイブ配信 セミナーの内容を動画撮影し、動画配信サイト等で配信する。</p> <p>(3)情報収集 留学生の就職に関する各種情報の収集に努めるとともに、県内企業による相談窓口活用を促す。</p> <p>業務体制</p> <p>(1)相談窓口には相談員を1名配置する。</p> <p>(2)相談員は外国人留学生のキャリアアップ支援等に従事した経験があり、企業・外国人留学生の双方への相談対応が可能な人材とする。</p> <p>(3)相談窓口の開所時間は、月・水・金曜日の9:00~16:00(年末年始、土日祝日を除く)とする。</p>			

新しい試み等 (事業計画に記載)	新卒の学生が減少し人手不足感が強まるなか、留学生は年々増加している状況で、「日本での就職を希望する留学生を支援すること」と「企業の留学生の受け入れ態体制を支援すること」を大学間連携、産官学連携組織としてのコンソの実績と強みを生かした方法で、企業の人材確保に貢献し、県内企業の活性化につなげる。			
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	6,140,000円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)	
------------------------------------	--

2023年度 キャリア委員会 事業予算

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算								委員会 予算		
		①取組1		①取組2		④取組1-1		④取組1-2				
		大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト		県内企業・団体等の魅力を情報発信		留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム		外国人留学生採用ワンストップ支援事業				
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	1,100,000				会費収入	1,000,000			会費収入	100,000	
	助成事業収入	0										
	受託事業収入	11,386,000	兵庫県受託事業	5,246,000					兵庫県受託事業	6,140,000		
	プログラム収入	0										
	雑収入	0										
	戻入金	0										
	計	12,486,000		5,246,000		0		1,000,000		6,140,000		100,000
支出	会議費	0										
	旅費交通費	231,000	打合せ交通費	31,000					打合せ交通費	200,000		
	通信運搬費	400,000	チラシ送付費	200,000					チラシ送付費	200,000		
	消耗品費	270,000	消耗品費	150,000					消耗品費	120,000		
	新聞図書費	0										
	印刷製本費	470,000	チラシ等印刷費	200,000					チラシ等印刷費	200,000	資料印刷費	70,000
	光熱水料費	0										
	賃借料	800,000	イベント会場費・PCリース	300,000			イベント会場費・PCリース	200,000	イベント会場費・PCリース	300,000		
	保険料	0										
	謝金	650,000	講師謝金	300,000			講師謝金	250,000	講師謝金	100,000		
	租税公課	50,000	収入印紙	10,000					収入印紙	10,000	講師軽食等	30,000
	支払手数料	20,000	振込手数料	10,000					振込手数料	10,000		
	諸会費	145,000	会費	45,000			神戸市合同企業説明会	100,000				
	委託費	1,050,000					HP製作費	50,000	社労士・行政書士委託費	1,000,000		
	人件費	8,400,000	コーディネーター費	4,000,000			パート・アルバイト代金	400,000	コーディネーター・相談員費	4,000,000		
雑費	0											
計	12,486,000		5,246,000		0		1,000,000		6,140,000		100,000	

支出ー収入	0
-------	---

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多面的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多面的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2022年12月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業生の『県内企業への就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足が考えられる。県内大学卒業生の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数120社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数20校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

(目標) 各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

(内容) 加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

(担当) 高大連携部門

③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

【取組1】 テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

(目標) 各年参加者数 50 名以上

(内容) 他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

(担当) 学生交流部門

【取組2】 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

(目標) 情報公開数 200 取組以上

(内容) 加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

(担当) 学生交流部門

2. “ひょうご神戸” の国際性を生かしたグローバル教育支援

④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進

【取組1】 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の 70%以上。

(内容) “ひょうご神戸” の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

(担当) キャリア部門

⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進

【取組1】 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上(期間中2回測定)

(内容) 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(日本学生支援機構委託事業)において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

(担当) 国際交流部門

【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上(期間中2回測定)

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

(担当) 国際交流部門

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供

⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

【取組1】加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

(目標) 各年セミナー数5件以上

(内容) 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD部門

【取組2】FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

(目標) 各年参加者数50名以上

(内容) 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD部門

⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

【取組1】単位互換事業の実施

(目標) 各年開放科目数10科目以上

(内容) 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

(担当) 教育連携・教務部門

【取組2】多様な学修機会の提供

(目標) 各年プログラム数5件以上

(内容) 加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する(ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。

(担当) 教育連携・教務部門

⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組

(目標) 各年参加者数50名以上

(内容) 加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

(担当) リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

(目標) 各年10校以上

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

(担当) リカレント教育部門・企画運営委員会

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

(目標) 大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

(内容) 兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

(担当) 企画運営委員会

【取組2】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

(目標) 緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

(内容) 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

(担当) 企画運営委員会

⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備

【取組1】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

(目標) 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

(内容) 加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

(担当) 企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上